

平成 26 年度 第 1 回 摂津市民図書館等協議会 要点録

日時：平成 26 年 5 月 13 日(火)

午後 3 時～4 時 30 分

場所：摂津市民図書館 3 階 会議室

出席委員： 7 名

欠席委員： 3 名

事務局： 6 名

- 案件： 1. 平成 26 年 4 月からの事務局メンバーの紹介と機構改革について
2. 平成 25 年度第 4 四半期および年間モニタリング評価結果について
3. その他

1. 平成 26 年 4 月からの事務局メンバーの紹介と機構改革について

(事務局) 平成 26 年 4 月より事務局の人員に変更があったことと、教育委員会の機構改革における業務移管についての説明を行った。

2. 平成 25 年度第 4 四半期および年間モニタリング評価結果について

(事務局) 平成 25 年度第 4 四半期および平成 25 年度年間のモニタリング評価結果について事務局より説明を行った。

【モニタリング評価時の記述内容についての回答】

(事務局) 「孫を連れて来館したが絵本コーナー近くで大人の方が静かに本を読んでいたため、子どものよく通る声が気になった」とのご意見だが、絵本コーナーは館内でも大人向けの配架から離れているので、ここでは親御さんが子どもへ読みきかせをする、紙芝居を読んであげるなどの用途で使ってもらいたいと思っている。

(絵本コーナー付近に) 大人の方がいたという話を含め、椅子を増やすなどレイアウトを考えていき、絵本コーナー付近に大人がいる状況を減らしていきたい。

今後は配席を見直して、大人も子どもも気持ちよく利用してもらえるように検討していく。

(事務局) 「出張おはなし会」の時間帯について、平成 24 年度から日にちは不定期で 14 時 30 分からスタートしていたが集客が見込めなかったという反省があった。

平成 25 年度は 9 月の「摂津まるごとマーケット」での集客があったが、次の月が蔵書点検と重なり実施できなかつたために、せっかくの機会を逃してしまった。

参加した親御さんへのアンケートで時間の再検討をし、15 時からの開催をしている。もともとは近所の徒歩通園である幼児を対象に考えていたが、帰宅後すぐに出てくることはやはり難しいようである。現在の参加者のほとんどは乳幼児とその親となっているので、そういう年代に合わせたイベントとしてやっていこうと考えている。

スタッフの人員の理由からも、今年度は 15 時からの開催を継続する。

(事務局) 2 月 16 日開催の「おはなし隊がやってくる!」「親子のきずな教室」は、ひとつひとつゆっくり話を聞きたかった、との意見があったが、これは事務局側としても反省している。ひとつひとつ良い先生に来ていただいて有意義な話をしてもらえたが、短い時間に詰め込みすぎた、と反省している。
今後はひとつひとつじっくり聞いていただけるように企画し、検討したい。

(事務局) 蔵書の予約申込冊数は 4 月は全部で 2,527 冊の申込があった。(所蔵していない本へのリクエストは除く)うち、インターネットからの予約件数が 1,302 冊と全体の 51.5%に上り、来館もしくは電話による予約数を上回っている。

受け取りについては摂津市民図書館の 1,293 冊に次いでコミュニティプラザが 682 冊となっているが、インターネット予約の方の約半数がコミュニティプラザ受け取りを希望されている。

この数字は図書館に蔵書があるものに対して予約がかかった分であり、蔵書がないもの(リクエスト)の件数に関しては入っていない。リクエストに関しては、既に購入予定のものは前述の予約人数に反映される。購入予定がないものは相互貸借(全国の図書館から借りる)に回しており、4 月の相互貸借は 161 冊となっている。

購入予定がなく、相互貸借で対応できなかったものは早めに予約者に連絡するようにしている。現在、リクエストがあっても購入しないものとして「タレント写真集」「コミックス」「相当な専門図書」としているが、写真集・専門図書は相互貸借で対応できている。

コミックスに関しては相互貸借できない事が多く、逆に他館からの相互貸借希望が多い。(指定管理者制度導入前から)市民図書館はコミ

ックスを持っているので、続きものについては相互貸借でなんとか対応していきたいが、今後はお断りする方向で考えておりコミックスが増えすぎることには歯止めをかけたい。

(事務局) 大阪府下の公共図書館の委託運営状況について、「日本の図書館 統計と名簿 2013」より抜粋したものを配布。平成 25 年 4 月 1 日現在における大阪府下の図書館一覧に、手書きで「委託」「指定管理」を記入した。これは TRC が委託もしくは指定管理業者となっているものである。

業務ごとの委託は可能だが、図書館全体となると指定管理者制度しかない。大阪府下では 4 つの自治体（摂津市・大東市・和泉市・大阪狭山市）が指定管理者制度を取っている。

(事務局) 玄関への駐輪について、なかなか具体的な策がとりづらい状況ではあるが、こまめな見回りを行い、可能であれば何らかの通知を考えていきたい。雨の日に屋根のある部分に止めてある自転車を、雨の中に出すことで新たなトラブルとなるので、できる範囲でやらせていただく。

(事務局) ブックシャワーの芳香剤について、委員の中でも意見が分かれている。まだサンプリング期間が短いので、もうしばらくご意見いただいた上でどうするか検討したい。あまりににおいがきつい、という話ならばアロマをなくすことも含め、継続して検討していきたい。

有料化については、現在の無料期間は暫定的であり（有料にするか無料にするかは）検討中である。ただ、使う利用者と使わない利用者で差をつけるのはよくないという反面、利用者サービスの向上という側面もある。バランスを見ながら有料・無料を考えたい。

(委員) 図書館スタッフの仕事量が分からないのだが、有料でも無料でも返却時にブックシャワーをしてもらいたい。また、有料の場合も図書館スタッフにブックシャワーをかけてもらえたらいいな、という話をしていたのだが可能だろうか。沢山あると後ろで並べられると気兼ねする。

(事務局) 現在、ギリギリの人員でもらっているのですが、ブックシャワーを個別にかける余裕はないのが実情である。だが、ご意見いただいたのでまた指定管理者の方で検討してもらおう。

返却時ににおいがきついものについては、閉館前などの来館者数が少ない時間帯にスタッフがブックシャワーをかけている。そのまま貸出本として出すのはどうか、というにおいのきついものについては既に指定管理者の方で適切に対応してもらっている。

なおかつご自身でもっときれいにしたい、という方に対して重ねてやってもらっているという状況である。

(委員) そんなににおいのきついものがたくさんあるのか。

(事務局) たばこのにおいを例にとると、喫煙者と非喫煙者では感じ方が全く違うため、たばこのにおいについても対応している。

ブックシャワーについては、もっと使いやすい環境になるよう検討していく。

(事務局) 鳥飼図書センターでの読みきかせ会について、おすすめ本や読みきかせのアドバイスについてはイベントとして開催したいと考えている。ただし、会の中でちょっとしたアドバイスもしていけたらと思っている。読みきかせ会については、参加者の年齢層でプログラムを変えているため、事前にプログラムを作成することが難しい。

読み聞かせ会の途中で入りづらいというご意見については、気にせず入っていただきたい。市民図書館と図書センターの部屋の違いから、3階になってしまっている。

鳥飼図書センターは1階は児童書と雑誌コーナーとなっているので、1階は児童向けとして読み聞かせ会を開催できないか検討したい。

(委員) 朗読ボランティアをずっと続けているが、おはなし会の部屋を手前の会議室に変えてもらい、環境も良くなって来てくれる子どもたちも広い部屋で喜んで聞いてくれている。

ぬいぐるみのお泊り会の時も当番でおはなし会を開催したが、今まで自分たちの活動についてPRしてこなかった。活動についてノートに記録はしているが、表立ってPR出来ていない。どうしていけばいいか。

(事務局) 掲示や市のホームページでの報告をしていきたいと考えている。

(委員) 現在3つの団体（おはなしぽけっと・おはなしの泉・おはなし館）が活動しているが、おはなし会の名前が「おはなし玉手箱」となっており、団体名が全く出てこないのも、もっとPRが必要だと感じた。

(事務局) ボランティアなどの市民団体と「協働」して摂津市の読書活動を推進したいと考えている。ただ、指定管理になって体制が変わってしまい、うまく連携できていないのも事実かと思うので行政・指定管理者・ボランティアが並立し連携していければと思う。

(委員) この活動を生きがいと感じており、子どもさんとふれあえるのも楽しみで和気あいあいと活動している。広報活動がうまくできていないことが気にかかる。

(事務局) 広報活動については弱いところで、指定管理者に任せっぱなしではなく今後はうまくアピールしていく形を取りたい。
どういうやり方をしたいか、など是非お話していきたい。
市内で「読みきかせ」というくくりの中で場所や団体が一覧になった情報発信ができないか、という要望をいただいている。これは行政がやらなくてはならないところなので、検討していく。

(委員) それぞれの施設に感想ノートを置いてはどうか。「こんなイベントがあった」「こんなところが面白かった」とか、目につく場所に置いておけば暇つぶしに読める。幼児とかなら連れて来てくれた保護者が書いてもらってもいいと思う。

(委員) 孫に本を読んでもほしいといわれるが、どうしても棒読みになってしまう。子どもの顔を見てもつまらなそう。

(事務局) 現在、「男性向けの読みきかせ講座」も検討している。昨今、子育てに男性が参加することが増えているのでニーズもあると思う。

【質疑応答や各委員の意見等】

- (委員) 出張おはなし会を午前中にすることは考えていないのか。
- (事務局) 今のところは午後のみを考えている。また、コミプラで午前中に同様のおはなし会が開催されているので同時刻に同じ行事が重ならないよう調整した結果、午後開催としている。
- (委員) 専門書の相互貸借について、公立図書館にはないものを大学図書館から借りることはできないか。
- (事務局) 大学図書館の蔵書を借りる場合は、公立図書館に蔵書がないことを確認した上で該当する図書館に FAX で依頼する。大学図書館から、日時の指定があるので、それを希望された利用者に伝えて本人に行ってもらうことになる。大学図書館とは本の転送はなく、連携サービスもない。
- (委員) 人科大はどうか。
- (事務局) その場合も他の大学図書館と同じ手順になるので、貸出の交渉は市民図書館で行う。一般利用について、大学図書館はかなりハードルを上げている。
- (委員) 前回の協議会でも、ブックシャワーのアロマの話は出ていた。自分も人工的なかおりが苦手で、実際使ってみたが頭が痛くなった。なるべくなら消臭だけでお願いできないだろうか。
- (事務局) アロマの瓶をブックシャワーから抜いてしまえば、多少は残るがかおりはしなくなる。ただ、アロマがあることを良しとしていた方からなぜなくしたのか、という意見も出かねない。
先ほども話題に上ったが、まだサンプリング期間が短いので判断するのはどうかなと思う。もうしばらく色々な意見を聞いた上で判断したい。
- (委員) 秋に実施された「いのちの講演会」はとても素晴らしく、感動したが参加者が本当に少なかった。幼稚園や小学校でもこれはきかせてあげたほうがいいのではないかと思う。

残酷な内容ではあるが、大事な事であるので是非次の機会があれば周知のチラシを配ってほしい。

(事務局) 著書の方は全国で公演をされているので、再度実施することは不可能ではない。ただ、前回については著者の方から「小学校3年生以上を対象にしています」とのご要望があったため、幼稚園・小学校への周知はしなかった。

この件については、広報活動が弱かった事を反省している。また、「殺処分」という言葉が一人歩きしてしまい、講演を聞いていただき理解していただければとてもいいお話なのだが、言葉だけで嫌悪感を持たれて拒絶されたりする可能性もあり、広報については難しい部分もある。

(委員) 自転車の件、自分が見るのはいつも同じ自転車である。雨の日じゃなくても玄関前に置いてある。札を下げるとかしたらどうか。

(事務局) 駐輪場所へ移動はさせているが、常習者については駐輪禁止の札を下げるなどした方がいいのかとも思う。しかしまずはコーンの場所を変えるなどして、(札を下げるなどを手前で) 何とかしたいと考えている。

安威川公民館も状況は同じなので、また連携取っていく。

(委員) 「図書館と私」の回収状況はどうなっているか。

(事務局) 大量とは言えないが、現在10件以上は届いている。6月1日号に再度掲載されるので、募集期間は6月15日まで延長する。

(委員) 予約本の受け取り場所について、コミュニティプラザと千里丘公民館があるが、他の公民館はないのか。鳥飼東はすごく遠いのでそういうサービスがあるとありがたいのだが。

(事務局) 今、コミプラと千里丘公民館で予約本の受け取り・返却を受け付けているがこれらは指定管理者の経費で賄われている。現状のままサービス拡大は難しいが、鳥飼東地区で不便な思いをされていることは把握している。今後予算拡大という形で対応していきたいが、必ず予算がつくとは限らないので確約はできない。

しかし、我々としては全公民館での実施を目標にしている。

(委員) 千里丘公民館をよく利用するが、夜 10 時まで開いているのでとても助かっている。是非ほかの公民館でも実施してほしい。

3. その他

(事務局) 次回の協議会やモニタリング評価発送についての説明を行った。今回で退任となる委員による挨拶。

【質疑応答や各委員の意見等】

(委員) 他市で新しい図書館ができたとき、図書館スタッフが視察に行ったりするのか。また、他館との勉強会はあるのか。

(事務局) 府主催のものと、北摂 7 市での連絡会がある。
視察について制度はないが、TRC 社内では指定管理館同士の連絡会ややり取りはある。

(委員) 新しい図書館ができれば、運営もきっと新しいものとなっていると思うので視察はとても勉強になるのではないか。魅力ある図書館からの刺激は摂津の図書館にとってもいいと思う。

(事務局) スタッフのレベル向上は大事であるし、努力していかなくてはならない。年に 1 度の館長説明会で見学と講座を受けており、それをスタッフに報告してはいるが、やはり実際見聞きすることが大事と思う。